

第557号



喬木村公民館：長野県下伊那郡喬木村6664



発行日 2015年 8月17日
発行責任者 喬木村公民館長 穂 美 穂
編集責任者 公民館編集部 長 志 久
印刷 龍共印刷株式会社

公民館楽遊塾第二講座
「夏野菜を使った郷土料理教室」

梅雨も明け、夏本番の七月二十六日、ふるさと味の会の田中君子さんを講師に迎え「夏野菜を使った郷土料理教室」が開催されました。

「生はる巻き」はふだんなかなか使わないライスベーパーを使い、具には旬のきゅうり、ピーマンなどをふんだんに入れました。

「豚しゃぶソーメン」はただソーメンを食べるのではなく、冷やし中華のように、豚しゃぶやズッキーニ、トマトなどの野菜をたくさん混ぜ、最後にポテトチップスをちらしました。

「生はる巻き」はふだんなかなか使わないライスベーパーを使い、具には旬のきゅうり、ピーマンなどをふんだんに入れました。生はる巻きは初めて作った方はいくつかありました。生はる巻きは初めて作った方はいくつかありました。

今の時代、季節に関係なく食材が手に入るわけですが、夏には夏の、冬には冬の食材を食べるのが体にも良くおいしく食べられるそうです。

献立は「なすの南蛮つけ」「生はる巻き」「豚しゃぶソーメン」の三種類です。「なすの南蛮つけ」は今の旬のなすを使い、粉をつけて揚げる事により、南蛮だれがよくしみてさっぱりした味つけになります。

料理が完成し、参加者の皆さんでテーブルを囲み、おいしくいただきました。生はる巻きは初めて作った方はいくつかありました。



おいしそうにできあがった夏野菜を使った三種

武田信玄狼煙上げのお知らせ

富田山城、加々須茶白山で狼煙上げを行います

山梨の市町村からも参加したいという話があり、近いうちに狼煙の抽路峠から信玄の居城であった躰躰から信玄の館までの「のろしり列」が完成するのではないかと楽しみにしています。毎年喬木村では富田の城山と加々須の茶白山で、飯田市ののろしを受けて狼煙を上げています。当日は骨組みの竹を組むところから始め、その上に松などの生の葉を大量に載せて、のろし作りから体験していただきます。その後、のろしや地域の歴史について少し勉強していただきます。他地区ののろしが上がるのを見て点火します。

武田信玄狼煙上げは、戦国時代武田氏が軍事上の必要性から張り巡らせたのろしを再現させようというこゝとで始まりました。最初は飯田下伊那で始めたものが、上伊那・諏訪へと広がり、今年には十五市町村三十一箇所でのろしが上がる予定です。喬木村が最初から参加しており、今年で十年目を迎えます。

- 実施日 九月五日(土) 雨天の場合六日(日) 午後二時集合
時間 九時二十分現地集合
集合場所 富田城山 加々須茶白山
その他 持ち物等特に必要なありませんが 望遠鏡などある方はお持ち下さい。

「少年」掲載作品第八号

椋鳩十顕彰会 久保田 毅

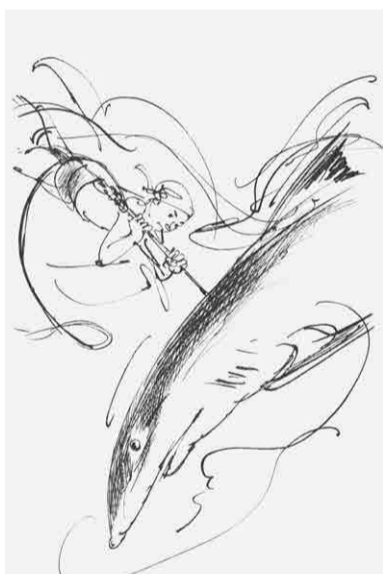
「白いサメ」 昭和二十九年五月号

ここに登場する動物は、今までどうって変わって、海にすむ大きなサメです。登場人物は、太郎と春吉です。二人は一家の柱となつて働いている少年漁師です。二人は、漁に行くときもおなじ丸木船にのりし、とつた魚も二人で分けあうし、ほんとに兄弟のようにたが

「白いサメ」はふだんなかなか使わないライスベーパーを使い、具には旬のきゅうり、ピーマンなどをふんだんに入れました。生はる巻きは初めて作った方はいくつかありました。

以前太郎の父も足の骨を砕かれてしまったのでした。太郎は昔から白いサメの恐ろしさを聞かされていましたが、注意深くやりさえすれば白いサメをうちとることができると信じていました。春吉も賛成し、帰ってくる漁師たちと反対に丸木船を沖の方に漕ぎ出して行くのです。

「太郎は箱がねを波間につつこんで海の底をのぞいてみました。白いサメが岩だに体をもちたせかけて静かに休んでいるのでした。話に聞いたとおり、五



この時、太郎はちょうど船にたどりつき、春吉と同じようにモリをめぐらしてとびつきました。そして、あ

あの時

日本の文化の特徴は守、破、離と言われるように守って破って離れるという「道」の文化です。柔道、剣道、華道、茶道など「道」の文化は基本というものを徹底的に習得させることからスタートします。日本の教育の原点である寺子屋でも礼儀の他に読み書きそろばんといわれるように、基本的なことを繰り返し徹底的に教えたのだと思います。「守」とは繰り返し基礎を学ぶ部分です。甘やかされて育った今の日本人には敬遠されがちですが、改めて大切にしなければならぬ点だと思えます。習字でいえば楷書の段階で、姿勢から始まって筆遣いから止め払うといったお手本に忠実に基本を身につける段階です。「破」の部分は教えられ身につけたことをもとに修行し直し、独自の境地に高める段階です。学習の中では自分なりにものを考え学習を進められるようになり、習字でいえば行書の段階といわれます。

「離」というのはさらに自分なりの世界を開き独自のものを生み出す段階です。学習の中で新しい発見をするとか、独自の考えに達するなど、習字でいえば草書の段階です。習字で行書や草書が書ける人というのは数えるほどしかいませんから、「破」「離」の部分に達することがいかに難しいか実感できると思えます。千利休の言葉に「規矩(きく)作法 守りつくして 破ることも離るることも 本を忘るな」というのがありますが、基本というものの大切さを伝えています。さらに「ただ見れば 何の苦もなき水鳥の 足に暇なきわが思ひかな(水戸光圀)という句のように、道を究め周りからは美しく見えるようになってからも苦もなく見える水鳥のように陰での努力の積み重ねが大切なのです。

「ランニングフェスタ2015」 わいわいランニング大会!



八月一日(土)、「たかぎスポーツクラブ」とよおか総合地域スポーツクラブによる共催イベント『ランニングフェスタ2015』が開催されました。

国土館大学陸上部の皆さんを講師として招いての第一部「ランニング&競歩スペシャル教室」と第二部「かけっこ&競歩大会」が行われ、延べ九十七名の方が参加しました。

参加賞セットや完走賞、抽選プレゼントなど豪華賞品もあり、大変盛り上がりしました。また、フェスティバルの名の通り、みんなでランナーを応援する暖かい雰囲気の中、



表彰式でハイポーズ☆



第二部は国土館大学のみなさんがコスプレで参加♪

なかでレースが行われ、入賞した選手もそうでない選手も走りや歩きを楽しめたのではないのでしょうか。

レースを走り終えた後に、ソーセージを食べながら観戦する子ども達の姿がとても印象的でした。

「たかぎスポーツクラブ」では、誰もが楽しく参加できるスポーツイベントをこれからも企画していきます。ぜひご注目ください。

お問い合わせはたかぎスポーツクラブ事務局(電話 三三二〇〇二)までお願いします。※インターネットでは「たかぎスポーツクラブ」で検索してください。

たかぎ俳句クラブ 文月句会

白菊を手向けて偲ぶ在りし日々
七夕や老いも一筆希ひごと
水甕に浮いて月見るメダカかな
夕暮のかなかな蝉に急かさるる
梅雨晴間子等の歓声弾みくる
極寒のシベリア遙か凌霄花
無花果の揺れて空家を守りをり
長雨に紫陽花つゆを滴れり
竹叢の大きうねりや梅雨晴るる
通院の風清々し青嵐

- 田中 君子
- 村山たか子
- 松葉 孝子
- 秦 恭子
- 小林 カツ

紫陽花の白き手毬や子守歌
老いの文乱れつ願ふ天の川
背負はれて孫の背温し青葉風
端居して夫穏やかに思考かな
体操も老いの根気や合歓の花
送り来し友の気遣い梅雨明るる
石楠花の洞は秘めをり山男
水無月や堰を越えたる水の音
譲りゆく踊り浴衣の月日かな
園児等の瞳集めて梅雨の蝶
遠投で決まる子の守備燕
石楠花や坊の焼き印下駄揃ふ

- 原 美恵
- 砂場 文子
- 松尾万里子
- 下平とみ子
- 吉川てる子
- 本山 栄信



みんなで遊んだよ

お昼は冷やし中華
風具のせ素麺をおいしく食べました。大勢で食べると箸が進みます。おかわり

子ども学遊館 子育てひろば&ももいろいかい 夏祭り

七月十六日(木) 子ども学遊館子育てひろばでは、子育てサークル「もういいかい」のみなさんと一緒に夏まつりを行いました。

当日は生憎の雨模様。予定されたプールやシャボン達は飛び出したコッポンボールを拾い集めに走っていました。

体育館へ会場を移し、ボールやトンネルくぐり、フラフープで電車っこなどをして、親子でたつぷり遊びました。

お昼は冷やし中華風具のせ素麺をおいしく食べました。大勢で食べると箸が進みます。おかわり

矢筈公園 夏祭り 開催

八月一日(土)、氏乗の矢筈公園で、今年で第三十回を迎える矢筈公園夏祭りが開催されました。

天候にも恵まれ、参加者も多く盛大な夏祭りになりました。



魚のつかみ取り大会

午後三時からの魚のつかみ取り大会と宝さがしは子どもたちに大好評。また、会場内は食べ物、飲み物、金魚すくいなどの出店が並び、夏祭りを盛り上げていました。



お腹いっぱい素麺食べた!

夕方になると特設ステージ上では、太鼓の演奏、ハワイアンダンス、氏乗民謡クラブの踊りなど、華やかな余興が始まり、演歌歌手の並木ちよこ歌謡ショーも行われ、会場は大盛況。夜八時、矢筈公園夏祭りの最後を飾る煙火大会がスタートし、水中花火から打ち上げ花火、スターマインなど、様々な花火が夜空を彩りました。



演歌歌手 並木ちよこさんのステージ

我が家ではついに家中閉め切ってエアコンを入れた。それでも暑いので、ついにカーテンまで閉めた。知人が言っていた。「この暑さに体をならしていくしかない。そうしないとこれから先、もっと暑い夏がくるかもしれないから」と。まあ、そういうこともあるかもしれないが、自分には無理。想像する。寒い季節になれば、この暑さが恋しくなる時がきつとくる。思いをめぐらせ、冷たいビールを飲む。

子育てひろばでは今後も親子で元気に遊べるような活動を企画して参ります。活動の予定は子ども学遊館や桜記念館図書館に置いてありますし、ホームページへのアップ、メール配信も行っています。ぜひ一度お出かけください。お待ちしております。

編集後記

今年の土用は暑い。とにかく暑い。熱風が吹きつけ開けつばなしの窓から入ってくる。

今年度の土用は暑い。とにかく暑い。熱風が吹きつけ開けつばなしの窓から入ってくる。

平成27年度 喬木村夜間ソフトボール連盟 第41回大会リーグ戦 星取表(H27. 7. 17現在)

前年順位	チーム名	勝	負	分	勝点
1	綿牛原S①	10	0	0	10
2	富田L②	8	2	0	8
3	上平龍王③	8	2	1	8.5
4	南D④	10	1	0	10
5	馬場⑤	6	4	1	6.5
6	北久ら馬⑥	2	8	1	2.5
7	富田B⑦	8	2	1	8.5
8	両平⑧	4	6	1	4.5
9	寺の前⑨	5	5	0	5
10	伊久間K⑩	3	7	0	3
11	伊久間G⑪	2	6	2	3
12	北明神⑫	7	2	1	7.5
13	南志ら鳩	1	9	0	1
14	勇龍⑭	2	7	1	2.5
15	町天狗海⑮	5	5	0	5
16	綿牛原D⑯	0	9	1	0.5
17	加々須⑰	2	8	0	2

※勝点 1勝=1 引き分け=0.5 で加算(同点の場合 ①勝数の大 ②負数の小 ③以上で同じなら同順位 ただし、1位の決定は直接対決による。引き分けの場合は決定戦を行う。)